

第 1 1 期事業年度  
(平成 2 6 年度)

決 算 報 告 書

国立大学法人 浜松医科大学

平成26年度 決算報告書

国立大学法人浜松医科大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	5,579	5,945	366	(注1)
施設整備費補助金	133	133	0	
補助金等収入	119	127	8	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	31	31	0	
自己収入	18,246	18,842	596	
授業料、入学金及び検定料収入	660	672	12	(注3)
附属病院収入	17,433	17,986	553	(注4)
雑収入	153	184	31	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,234	1,548	314	(注6)
引当金取崩	0	91	91	
長期借入金	0	0	0	
目的積立金取崩	0	153	153	(注7)
計	25,342	26,870	1,528	
支出				
業務費	22,198	22,759	561	(注8)
教育研究経費	6,870	6,651	△ 219	
診療経費	15,328	16,108	780	
施設整備費	164	164	0	
補助金等	119	127	8	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,234	1,448	214	(注10)
長期借入金償還金	1,627	1,664	37	(注11)
計	25,342	26,162	820	
収入-支出	0	708	708	

○予算と決算の差異について

- (注1) 25年度に交付された運営費交付金繰越額使用による増額および予算段階に予定していなかった運営費交付金の交付により、予算額に比して決算額が366百万円多額となっています。
- (注2) 予算段階では予定していなかった国及び地方公共団体からの補助金の交付を受けたため、予算額に比して決算額が8百万円多額となっています。
- (注3) 主として入学料及び入学検定料の増等により、予算額に比して決算額が12百万円多額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、救急患者の積極的な受入れ、手術件数の増加に伴う入院患者の増、入院単価の増加及び入院基本料等の各種加算に伴う診療単価の向上等により、予算額に比して決算額が554百万円多額となっています。
- (注5) 特許譲渡収入、特許出願支援料収入、駐車場収入、職員宿舍料収入の増等により、予算額に比して決算額が31百万円多額となっています。
- (注6) 予算段階で予定していなかった受託研究等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が314百万円多額となっています。
- (注7) 予算段階では予定していなかった事業を実施したため、予算額に比して決算額が153百万円多額となっています。
- (注8) 業務費については、診療経費において医療機器の老朽化に伴う維持修繕費の増及び患者数等の増に伴う直接診療費の増等により、予算額に比して決算額が562百万円多額となっています。
- (注9) (注2)に示した理由により、支出額においても予算額に比して決算額が8百万円多額となっています。
- (注10) 複数年契約等による支出年度の差異により、予算額に比して決算額が214百万円多額となっています。
- (注11) 長期借入金の利率の変更等のため、予算額に比して決算額が37百万円多額となっています。